

普及活動情勢報告（令和元年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

中央西地区環境制御技術研究会講演会

～ハウス内環境を見ることの重要性と増収のための環境制御技術～



熱心に学ぶ参加者。

8月27日、春野文化ホールピアステージにおいて農研機構の研究員を講師に招いての中央西地区環境制御技術研究会講演会の開催を支援しました。生産者35名を含む82名が参加し、キュウリ・ピーマンを中心にデータを活用して増収するための栽培管理について熱心に聴講しました。

生産者からは「データに基づく栽培管理の重要性がわかった」、「何かすることで増収するのではなく、制限要因を無くしてポテンシャル収量を維持するという考え方に驚いた」との感想が聞かれるなど有意義な講演会になりました。

農業改良普及課では、今後も環境制御技術に関する情報提供やデータに基づく栽培管理を支援していきます。

6次産業化セミナー実践コース受講

～愛される土佐市名物を目指して「ショウガ焼きのタレ」の商品化を検討～



ショウガ焼きのタレの試作中。

8月29日、男女共同参画センターソーレにおいて、とさし旬物クラブ員5名が6次産業化セミナー実践コースを受講しました。

農業改良普及課がコーディネートして参加したセミナーでは、既存商品の「焼き肉のタレ」の兄弟商品として「生姜焼きのタレ」の商品コンセプトや製造目標数量の検討、そして講師のレシピによる試作や原価計算などを行いました。

試作したタレで豚肉のショウガ焼きを作り試食したところ、「からみがマイルド、甘くておいしい」など出来栄は上々でした。

農業改良普及課では、今後も「ショウガ焼きのタレ」の商品化に向けて支援していきます。

土佐岩戸米営農組合が実証ほに葉ニンニクを定植

～昨年度に引き続き販路拡大・有望品目探索として葉ニンニク栽培実証に取り組中～



暑い中、組合員一丸で定植中。

9月14日、土佐市岩戸米営農組合員11名が集い、水稻収穫後のほ場に葉ニンニクを定植しました。

本組織は良食味米である「土佐岩戸米」の生産技術研鑽とブランド化を核とする集落営農組織で、昨年度から新たに有望品目候補として葉ニンニクの栽培実証に取り組んでいます。今年は早出しに向けた9月中旬定植と昨年度と同じ10月上旬定植との収量・品質、収益性等を比較検討予定です。

農業改良普及課は、今後複数組合員による収穫体制の整備や経済性評価データの収集・分析等を行いながら有望品目の導入・定着に向けて支援します。

ユリ若手生産者勉強会を開催

～ハウス内環境のみえる化について～



熱心に学ぶユリ若手生産者。

8月19日にユリの若手生産者8名を対象に、ハウス内環境のみえる化の重要性について、勉強会を開催しました。

参加した生産者からは「次世代型ハウスの環境はこんなになるから、生育はこうなるのか」、「飽差の考え方を教えて欲しい」、「おススメの環境測定装置を教えて欲しい」などの意見が聞かれ、環境制御技術の導入・推進につながる有意義な勉強会になりました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し、ハウス内環境や生育データを提供し、品質向上に向けて支援していきます。